

自主防災会・自治会における

災害時の安否確認の事例

〈例1〉 **集合場所に集合する**

- ①班長と班員を決め、**名簿を作成**(班長が保管)
- ②地震の揺れがおさまった後、あらかじめ決めた集合場所に集合
- ③班長は集合した班員を確認
- ④**集合しなかった班員(安否不明者)について**
班員で協力して自宅を確認(声かけ)

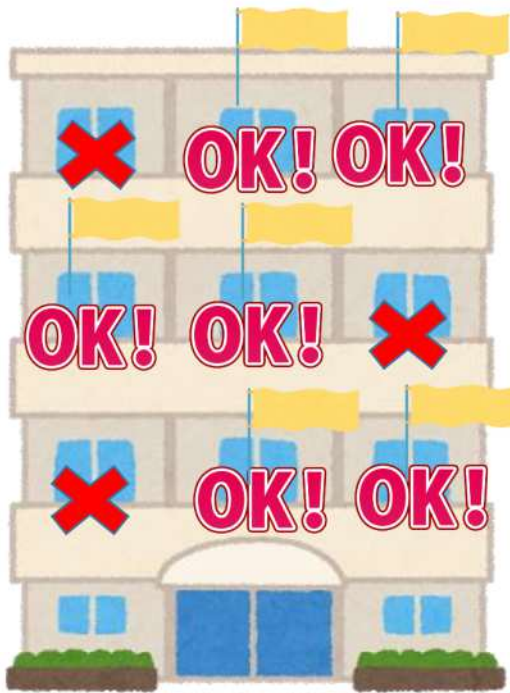
〈例2〉 **集合場所に集合する** (マンション等で有効)

- ①住民全体の**名簿(一覧表)を作成**
(自治会長、自主防災会長が保管)
- ②地震の揺れがおさまった後、あらかじめ決めた集合場所に集合
- ③集合した住民は名簿(一覧表)に安否を記入
- ④**記入の無い住民(安否不明者)について**
協力して自宅を確認(声かけ)

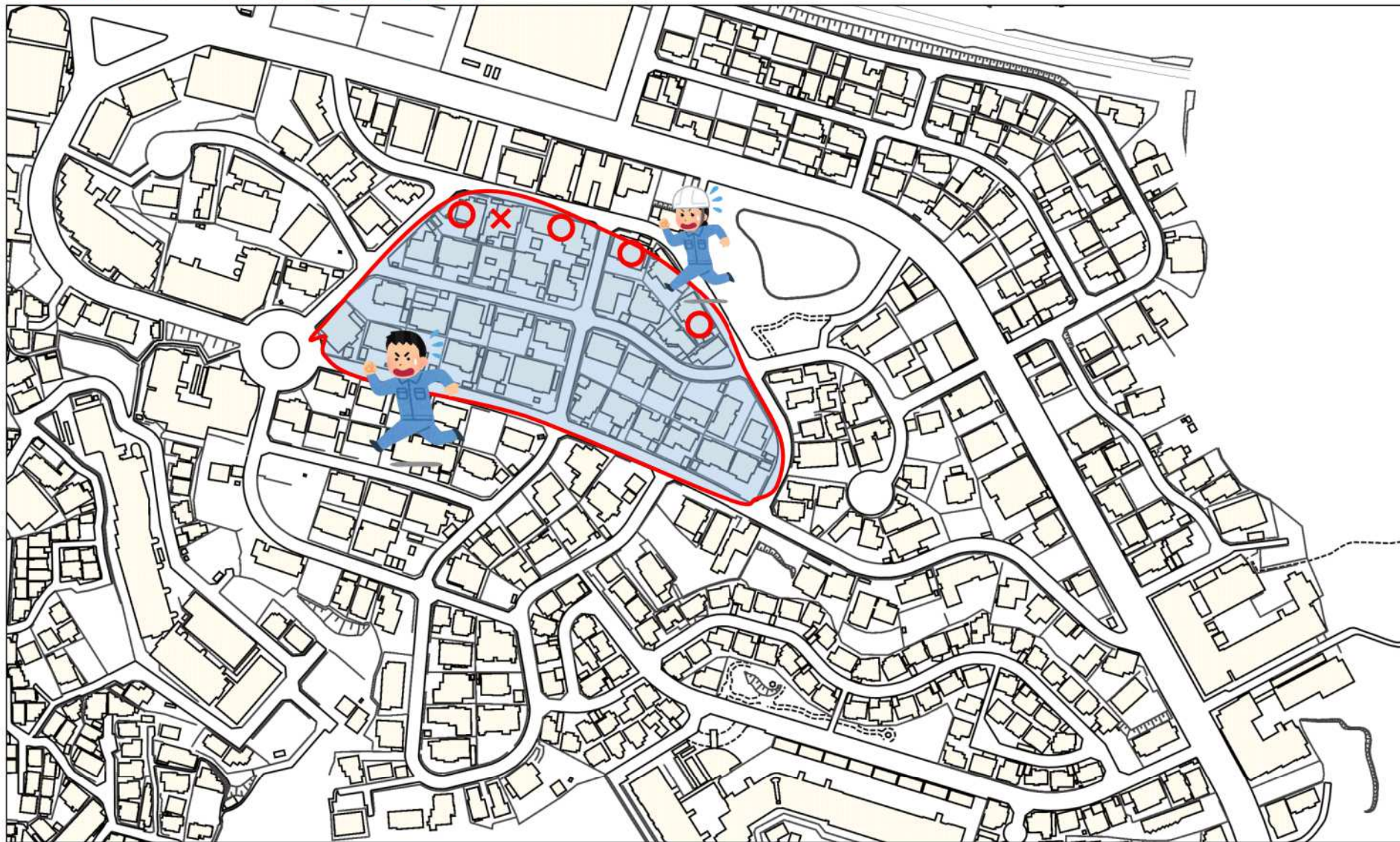


〈例3〉 **自宅に目じるしを掲げる**（タオル、マグネットシート等）

- ①班長と班員を決め、名簿を作成(班長が保管)
- ②地震の揺れがおさまった後、安否確認用目じるしを自宅前に掲げる
- ③班長は担当する班員の自宅に向かい、目じるしを確認
- ④目じるしが無かった班員(安否不明者)について班員で協力して自宅を確認(声かけ)

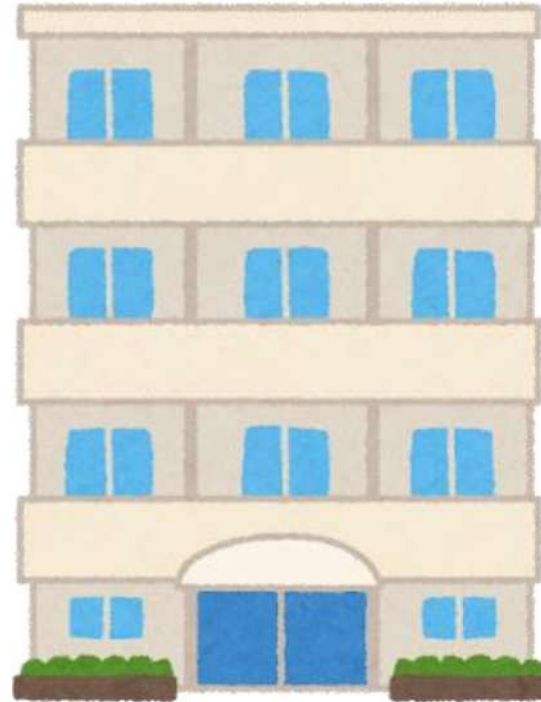


【安心】班 班長〔 連絡 早太 〕



〈例4〉 **直接指定避難所へ避難**（避難所が近い地域で有効）

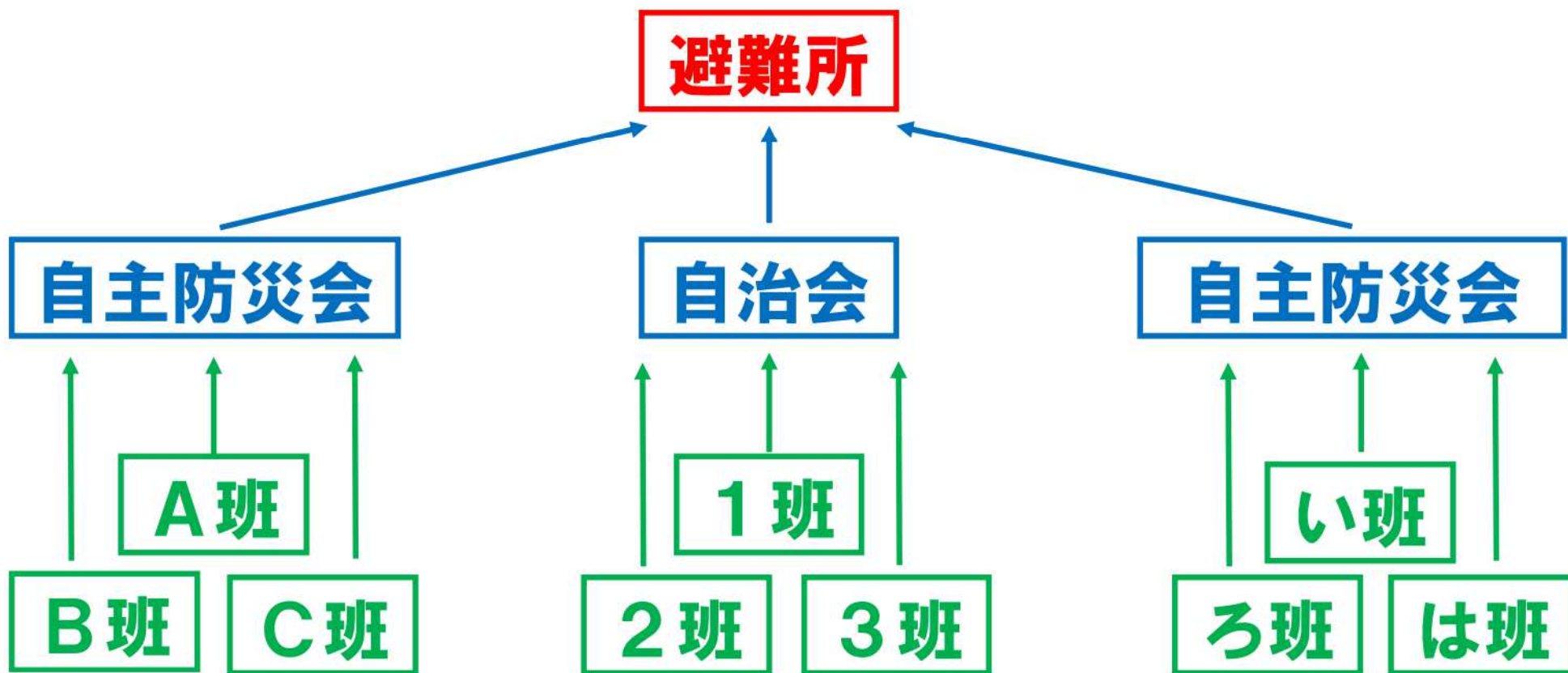
- ①住民全体の**名簿（一覧表）を作成**
（自治会長、自主防災会長が保管）
- ②地震の揺れがおさまった後、それぞれ避難する
- ③避難所で名簿を用いて確認を行う
- ④**避難されていない住民について協力して自宅を確認（声かけ）**



〈例5〉 **自治会員用SNSで確認**（耐震性の高い住宅地）

- ①あらかじめ自治会員（自主防災会員）の**SNS連絡ツールを作成**
- ②地震の揺れがおさまった後、安否確認のメッセージを送付
- ③**返信の無い自宅を確認**

安否確認はピラミッド



令和 年度 災害時 安否確認用 名簿 ①班長用

「いこま」自主防災会(自治会)

令和 年 月 日(大地震)

【安心】班 班長氏名(連絡早大)

	班員名	家族の数 (全員)	うち安否確 認人数	備考	班長 チエック欄
記入例	防災 太郎	4人	3人	80代女性含む、 太郎氏は仕事で不在	
記入例	安全 守美	(3人)	(3人)	滋賀県の親戚宅へ避難	ここにはいない
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
	合計				

災害時 安否確認用 名簿 ②会長用

「いこま」自主防災会(自治会)
令和 年 月 日(大地震)

会長氏名(断層 帯助)

班名	班長名	班内 世帯数	安全確認 済世帯	安全確認 済人数	備考	会長 子エック 欄
記入例 安心班	連絡 早木	15世帯	13世帯	28人	1世帯不在 1世帯滋賀県へ避難	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
	合計					

災害時 安否確認用シート ③避難所用

「安全小学校」避難所

令和 年 月 日 (大地震)
 取りまとめ担当者「さんろく」自主防災会(自治会)氏名(土砂崖弘)

	自主防 災会名	会長名	自治会 世帯数	避難世帯	避難者人 数	備考	担当者 チエック
記入例	いこま	断層 帯助	254世帯	132世帯	345人	自治会未加入世帯8世帯を含む	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
		合計					